| 名前: | | <u> </u> |
|-----------------------|-------------------------|-----------------|
| | | |
| Linux を含む UNIX システムは複 | 数のユーザーが同時に使用することが、 | できる様になって |
| いる。この様なシステムを | システムと呼ぶ。 | |
| | イルやディレクトリに対してどのユー | ザーが何をできる |
| かについての | を設定できる様になっている。 | |
| ユーザーが間違いを起こすことが。 | あると考えて、未然に間違いが起こりに | こくいようにシス |
| テムをデザインしておくことを | という。 | |
| 上記の「どのユーザーが」について | て、UNIX システムではユーザーを三種 | 類に分類する。 |
| 一つ目は u でこれはファイル/デ | ィレクトリの所有者である。2つめは g | ; で、所有者と同 |
| じに属するユーザ- | -はこれに該当する。3つ目は o で | ユー |
| ザーがこれに該当する。 | | |
| また、「何をできるか」についても | UNIX システムは3通りの分類を行な・ | っている。一つ目 |
| は r でこれはファイルを | することができる。二つ目は w で、 | これはファイル |
| にだり、ファイルを | をすることができる。3つ |)目は x でこれは |
| ファイルをすることだ | ができる。 | |
| 「何をできるか」がディレクトリの |)場合、r は | でき、w は、 |
| ディレクトリ内で | | でき、x はデ |
| ィレクトリを | できる。 | |
| | か、は、コマン | ドで知ることがで |
| きる。 | | |
| カレントディレクトリにあるファク | イルやディレクトリについて、誰に、何ス | が許可されている |
| かについては、コマンドに_ | オプションをつけることで知るこ | .とができる。 |
| 上記コマンドにより表示される rw | vxrwxrwx の9文字の並びについて、最初 | 刃の3文字はファ |
| イルのに対する許可 | 可、中の3文字は | に対する許可、最 |
| 後の3文字は | | |
| あるファイルについて rwxrw-rと | なっている場合、このファイルは | にの |
| み実行できる。またこのファイル | はグループのユーザーには見ることが゛ | でき。ま |
| た、グループに属さないユーザーに | こは削除することができ。 | |
| また、ディレクトリについて r-xr- | -rとなっている場合、 ディレクトリ内゙ | でファイルを作成 |
| したり削除することは誰にも出来_ | 。また、ディレクトリ内を ls ~ | することは誰にも |
| 出来。 | | |
| 上記にある許可の内容の状態を書 | き換えたい場合にはとい | いうコマンドを用 |
| いる。 | | |
| シンボルモードで、権限を追加した | い場合には記号を、無くしたい場合 | 合には <u></u> 記号を |
| 用い、指定した権限だけの状態にし | したい場合には記号を用いる。 | |

| あるファイル foo について、 | シンボルモードを使って、、 | ユーザーに実行許可を付与したい |
|----------------------|------------------------|-----------------|
| 場合には chmod | foo とする。グループのユー | ザーから、読み取り許可をなくす |
| ためには chmod | foo とする。グループ以外の | のその他のユーザーに読み取り権 |
| 限だけを与え、他の権限はな | いようにしたい場合 chmod . | foo とする。 また全ユ |
| ーザーに実行権限を付与した | い場合、chmod | foo とする。 |
| chmod の「数値モード」につ | いて、rwxrw-rとしたい場 | 合には3桁の数値をと |
| する。また、r-x-wx とした | い場合には3桁の数値を | とする。 |
| chmod 752 foo とした場合、 | ls -l foo して得られる foo の | 許可レベルに関する9つの文字の |
| 並びは | となる。 | |
| ファイルやディレクトリにハ | パーミッションが設定されてい | ハる理由は二つあって、まずマル |
| チユーザーシステムで、 | が自分のファ⁄ | イルやディレクトリを見たり改変 |
| したり出来ないようにするた | め、であり、もう一つの理由 | はを一般 |
| のユーザーが書き換えたり削 | 除できない様にするためであ | 53. |
| システムの管理者はこれに対 | して、どのような操作も許さ | れる権限を持つ。この様なユーザ |
| ーをユーザ | ー、あるいは | _ユーザーと呼ぶ。 |
| 一般のユーザーが、実行権限 | の強い上記のユーザーになる | ためには、コマンドを用 |
| いる。これは | の頭文 | て字である。 |
| また、このユーザーにならず | に、管理者権限でコマンドを | 一つずつ実行したい場合には、コ |
| マンドラインの前に | というコマンドを付 | けして実行する。 |
| | | |